僕がムケるまで～A君篇

k o d o m o z u r u m u k e

この作品はR18描写を含むため、18歳未満の方は閲覧禁止です。

HinaProject Inc.

注意事項

このＰＤＦファイルは小説家になろうグループサイトで掲載中の作品をＰＤＦ化したものです。

このＰＤＦファイルおよび作品の取り扱いについては、小説家になろう利用規約が適用されます。そのため、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止いたします。作品の紹介や個人用途での印刷および保存にはご自由にお使いください。

【作品タイトル】

僕がムケるまで～A君篇

【Ｎコード】

Ｎ６０６２Ｘ

【作者名】

ｋｏｄｏｍｏｚｕｒｕｍｕｋｅ

【あらすじ】

新シリーズです。僕がムケるまで、の経緯を描きます。
ほとんど実話にアレンジを加えて作ります。

幼稚園児の頃、興味本位でおちんちんの皮を剥いて遊んでいたことがありました。両親に見つかると、「遊んじゃだめ」と怒られていました。その頃は痛みなく全部むくことができました。遊ぶことは駄目といわれましたが、お父さんとお風呂に入ると「おしっこの出るところもよ〜く洗うんだよ」といって皮の入り口を洗われていました。

それから何年間も皮を剥くことはありませんでした。転機は小学校5年生のときでした。誕生日の直前、いきなりお父さんから「もう10歳か、ちんちんの先の余っている皮だけの部分、病気にならないように切らなきゃいけないな」といわれました。怖くなって思わず逃げてしまいました。

それから1ヶ月くらいたち、学校の運動会でした。終わった後、家族で健康ランドに行きました。久しぶりにお父さんと同じ風呂に入り、体も洗って出ようとしたとき、シャワーを浴びる場所に呼ばれました。そこでお父さんに「もうちんちんの皮を剥かなきゃ駄目だよ。今、剥いてみなさい」といわれてしまったのです。幼稚園のときはすぐに剥けたのに、大きくなったせいかあまりよく剥けませんでした。少しだけめくってみると「もっと剥け」といわれ、剥くとシャワーをあてられました。終わって皮を戻すと「もう一回」といわれ、「もっと剥け」といわれてシャワーをあてられることを3回くらい繰り返されました。最後は半分くらいまで皮を剥かされました。そこにシャワーをあてられるのがとても痛くて、「痛い」と叫んでかぶせてしまいました。

その場で「これを毎日やること」「6年生になるまでに全部むけるようにすること」「切るのは剥くより痛いから自分で剥いたほうがいい」「剥けて来なかったら病院に行って切ってもらう」と言われました。切られるのだけは絶対いやだったので、それから毎日剥く

ようにしました。でも痛いから洗うことは全然しませんでした。

6年生になって少したってから、風呂に入っているときにお父さんが突然入ってきて、「皮剥いてみろ」といわれました。全部むくことができたので即病院とは言われませんでしたが、「全然洗えてないな」「皮も長いから中学生になったら病院行って切ってもらった方がいいな」と言われてしまいました。いつ切られるのか、とても不安でした。

中学生になり、夏休みにやられるのかなと心配していました。中学1年生の七夕のとき、「夏休みに手術されませんように」とお願いしたことを覚えています。それから旅行とかに行ってもお父さんと同じ時間にはお風呂に入らないようにしていました。それ以降、言われることはなく2年が過ぎていきました。皮をむくことはできましたが、全然むけてくることはなく、皮がたっぷり余っていました。

中学2年生の1月、突然お父さんに呼ばれました。突然パンツをぬいでちんちん見せてみろ、といわれてしまいました。いやでしたが、仕方なく見せました。皮のことだとわかっていたので、自分でしっかりと剥いて見せました。しかしお父さんはそれをあまり確認せず、「やっぱりちんちんの皮は中学生のうちに切っておいたほうが良いみたいだ」「弟の中学受験が終わったら、春休みのうちに2人ともやってもらうことにしよう」と一方的に言い渡されました。ちょうどそのとき隣のおじさんが家をたずねてきました。お父さんは叔父さんに、子どもの包茎手術を考えていることを伝えました。おじさんは「まだ早くないかね、無理にやらなくてもいいのでは」と助け舟を出してくれましたが、お父さんは「今は技術が進歩しているから早めに切っておいた方がいいんだってさ」といって取り合いませんでした。

どうやら医者の友達と新年会で飲んだ際に話題になったようです。自分は大学生のときに手術を受けて、そのとき医者からもう少し早く来たほうがよかったといわれたことも頭に残っていたようです。僕も弟も手術はいやだといいましたが、お父さんは病院に予約をいれてしまいました。

そして僕の3学期終業式の2日後、すでに小学校を卒業していた弟と一緒に病院に行き、局所麻酔をして皮を切る手術をしました。注射と麻酔がきれた後は痛かったです。お父さんは「ほんのちょっとしか皮は切らない」と事前に言っていました。確かに僕も弟もズルムケにはならず、特に弟は半分くらい皮が亀頭を覆った状態でした。勃起時に皮が不足しないためだそうです。

僕はそれから1年もたたないうちに完全に剥けたと思います。中1の校外学習ではクラスの中に剥けてる人がだれもいなかったから心配でしたが、中3の修学旅行では剥けている人も結構いたので恥ずかしいということはなく、よかったと思います。弟はちょっと苦労したかもしれません。